

番号	1-1-3	表題	大径礫・流速の速い地下水・急勾配におけるシールド施工について ～豊島区目白三丁目、新宿区下落合二丁目付近再構築その3工事～		
内容	<p>「豊島区目白三丁目、新宿区下落合二丁目付近再構築その3工事」は、当該地域における既設管きよの雨水排除能力の増強を図るため、新たな管きよ（\odot 2400mm）を泥土圧シールド工法によって施工するものである。</p> <p>当シールド工事の通過地層は、上層から洪積の粘性土、礫、砂質土からなり、このうち礫層は50mm～250mmに及ぶ大径礫で構成され、その層内には被圧された地下水が1.2cm/分程度の速い流速で流れていることが確認された。さらに、本工事では礫層をできるだけ避け、粘性土を掘削する方針で線形が計画されていたが、急激に地形及び地層構造が変化する一部区間では、礫層を急勾配（105.1%）で掘進する必要があった。</p> <p>これらの課題に対して行った、①大径礫への対策、②流速の速い地下水への対策、③急勾配施工への対策について報告する。</p>				
キーワード	泥土圧シールド工法 大径礫 流速の速い地下水 急勾配施工 礫層				
処理区名	三河島処理区	位置区分	管きよ		
職種区分	土木	施策区分	浸水対策		
状態区分	工事	新規性			
実施年度	平成25年度～平成27年度	全体期間	平成25年度～平成27年度		
担当部署	第一基幹施設再構築事務所 工事第二課 工事係 貞本 健志				
発表履歴	局内	平成26年度 設計・工事事例発表会			
	局外				
調査方法					
関連情報					